

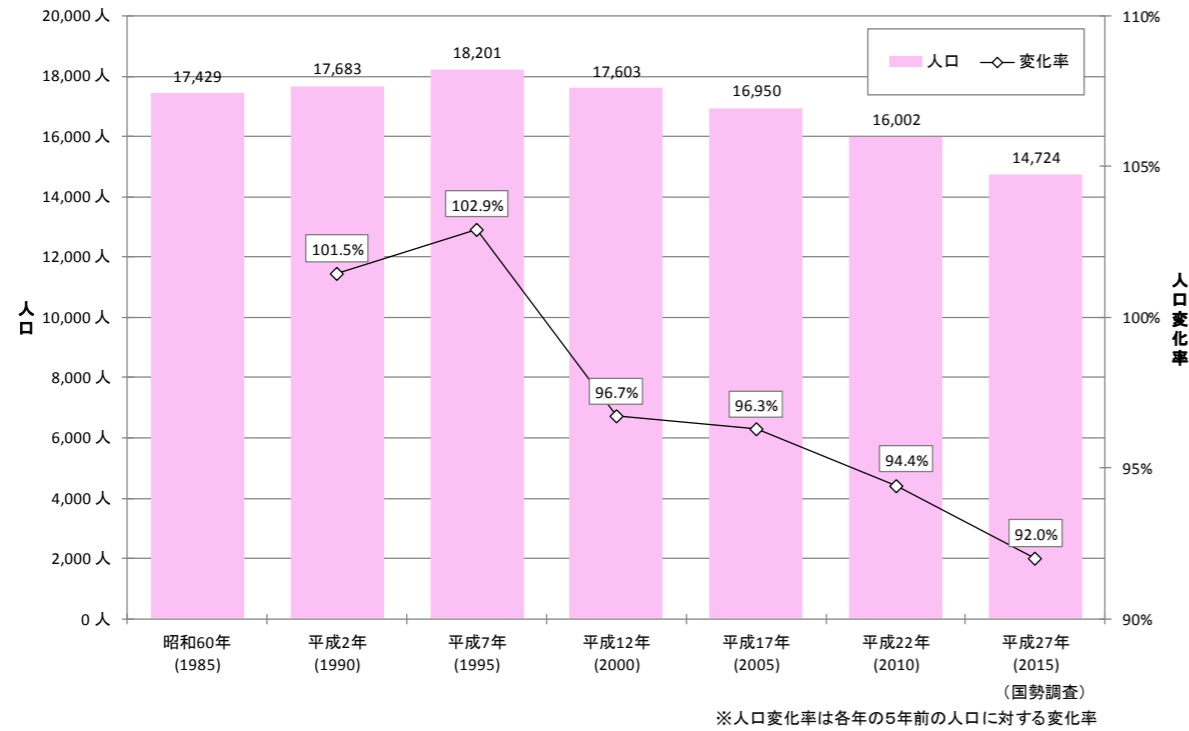
## 多古町 人口に関する現況データ

### (1) 人口の推移

多古町の人口についてしてみると、平成7年をピークにし、以降減少しており、平成27年で14,724人となっています。

また、人口変化率についても減少が続いており、人口減少傾向が強くなっています。

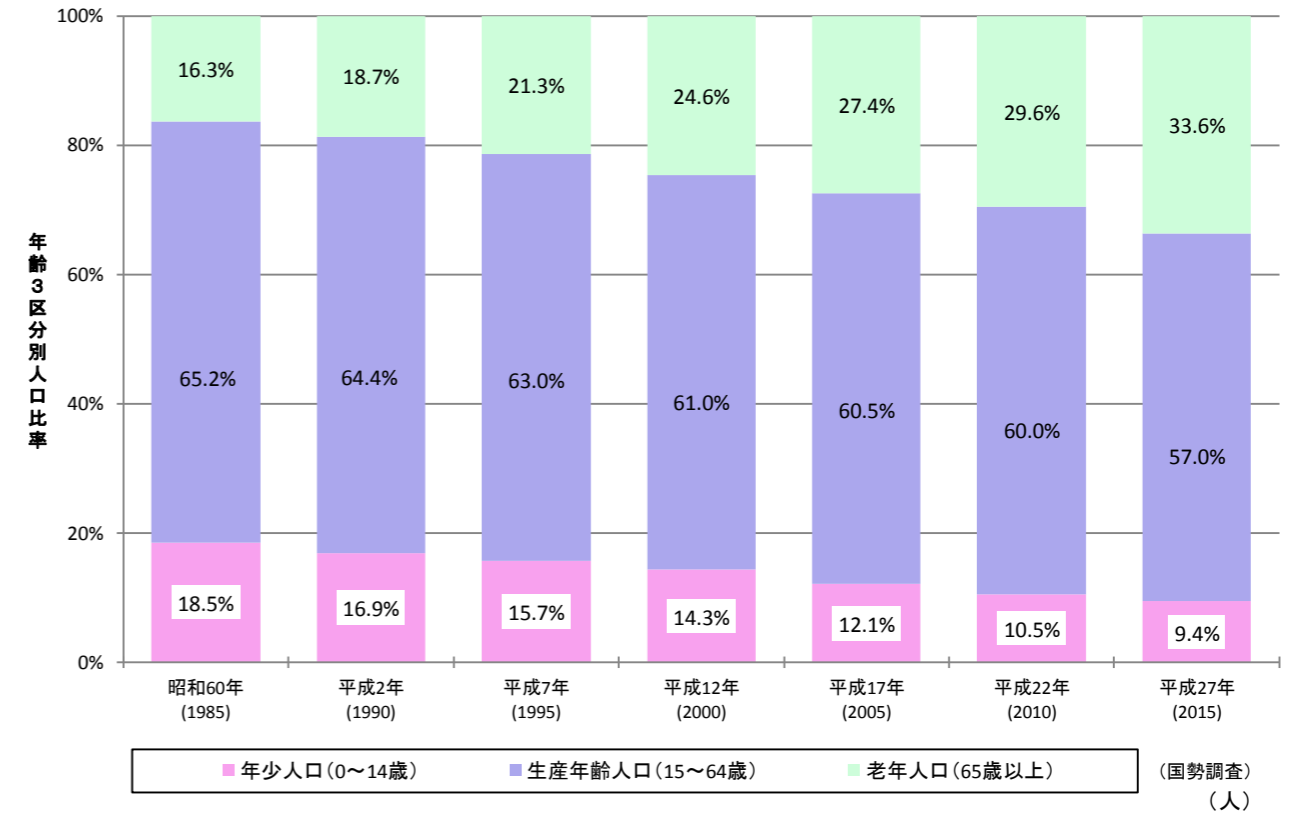
人口と人口変化率の推移



### (2) 人口構造の推移

多古町の人口について3年齢区分でみると、平成27年の年少人口は1,384人で人口比率としては9.4%、生産年齢人口は8,372人で57.0%、老年人口は4,936人で33.6%となっています。

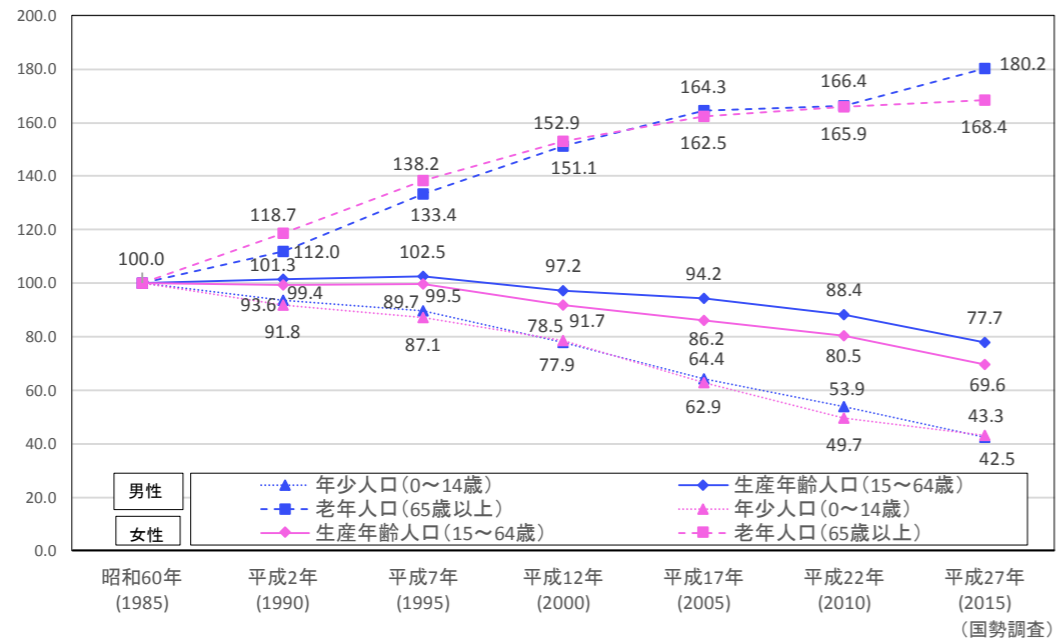
年齢3区分別人口構造の推移



### (3) 人口変化指数

多古町の3年齢区分人口を、昭和60年の人口を100としたときの、変化指数をみると、男女ともに老年人口は増加しており、年少人口、生産年齢人口は減少しています。

男女別人口変化指数の推移



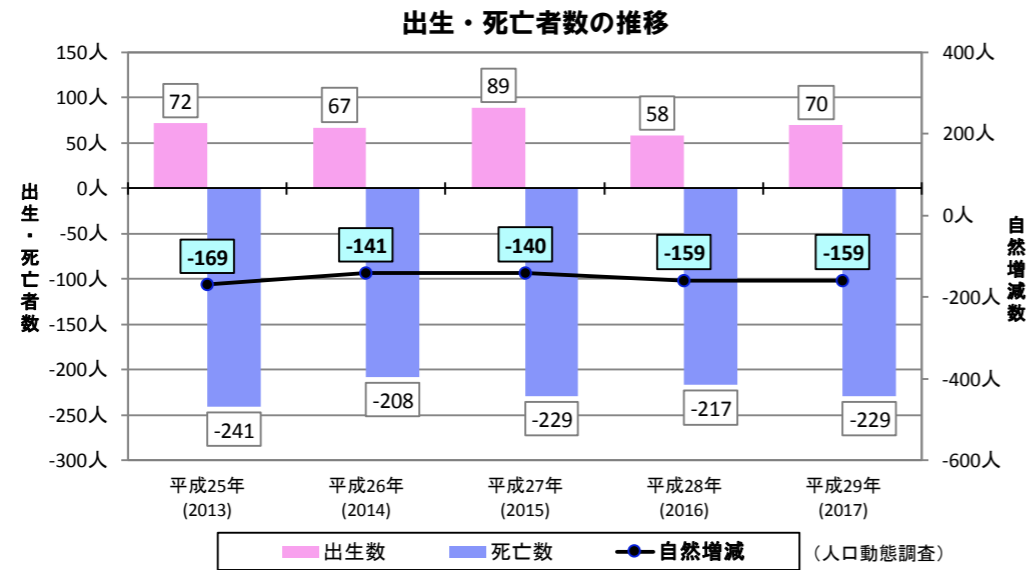
|        |        | 昭和60年 (1985) | 平成2年 (1990) | 平成7年 (1995) | 平成12年 (2000) | 平成17年 (2005) | 平成22年 (2010) | 平成27年 (2015) |       |
|--------|--------|--------------|-------------|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-------|
| 人口     | 年少人口   | 0~4歳         | 998         | 899         | 846          | 713          | 497          | 416          |       |
|        |        | 5~9歳         | 1,059       | 1,007       | 958          | 851          | 718          | 499          | 459   |
|        |        | 10~14歳       | 1,169       | 1,084       | 1,048        | 958          | 838          | 720          | 509   |
|        |        | 計            | 3,226       | 2,990       | 2,852        | 2,522        | 2,053        | 1,673        | 1,384 |
|        | 生産年齢人口 | 15~19歳       | 999         | 1,072       | 1,004        | 956          | 862          | 748          | 652   |
|        |        | 20~24歳       | 854         | 874         | 1,057        | 824          | 761          | 715          | 592   |
|        |        | 25~29歳       | 1,073       | 969         | 978          | 960          | 829          | 760          | 643   |
|        |        | 30~34歳       | 1,231       | 1,068       | 1,017        | 934          | 918          | 794          | 655   |
|        |        | 35~39歳       | 1,330       | 1,275       | 1,160        | 999          | 918          | 894          | 735   |
|        |        | 40~44歳       | 1,076       | 1,368       | 1,320        | 1,175        | 1,006        | 900          | 893   |
| 45~49歳 |        | 1,102        | 1,077       | 1,405       | 1,320        | 1,163        | 986          | 877          |       |
| 50~64歳 |        | 3,690        | 3,691       | 3,530       | 3,558        | 3,790        | 3,794        | 3,325        |       |
| 計      | 11,355 | 11,394       | 11,471      | 10,726      | 10,247       | 9,591        | 8,372        |              |       |
| 老年人口   | 65~74歳 | 1,724        | 1,886       | 2,158       | 2,380        | 2,262        | 2,066        | 2,261        |       |
|        | 75歳以上  | 1,123        | 1,413       | 1,720       | 1,952        | 2,386        | 2,664        | 2,675        |       |
|        | 計      | 2,847        | 3,299       | 3,878       | 4,332        | 4,648        | 4,730        | 4,936        |       |
| 年齢不詳   |        | 1            | 0           | 0           | 23           | 2            | 8            | 32           |       |
| 総人口    |        | 17,429       | 17,683      | 18,201      | 17,603       | 16,950       | 16,002       | 14,724       |       |
| 構成比    | 年少人口   | 0~14歳        | 18.5%       | 16.9%       | 15.7%        | 14.3%        | 12.1%        | 10.5%        | 9.4%  |
|        | 生産年齢人口 | 15~64歳       | 65.2%       | 64.4%       | 63.0%        | 61.0%        | 60.5%        | 60.0%        | 57.0% |
|        | 老年人口   | 65歳以上        | 16.3%       | 18.7%       | 21.3%        | 24.6%        | 27.4%        | 29.6%        | 33.6% |

(国勢調査)

(4) 出生・死亡の状況

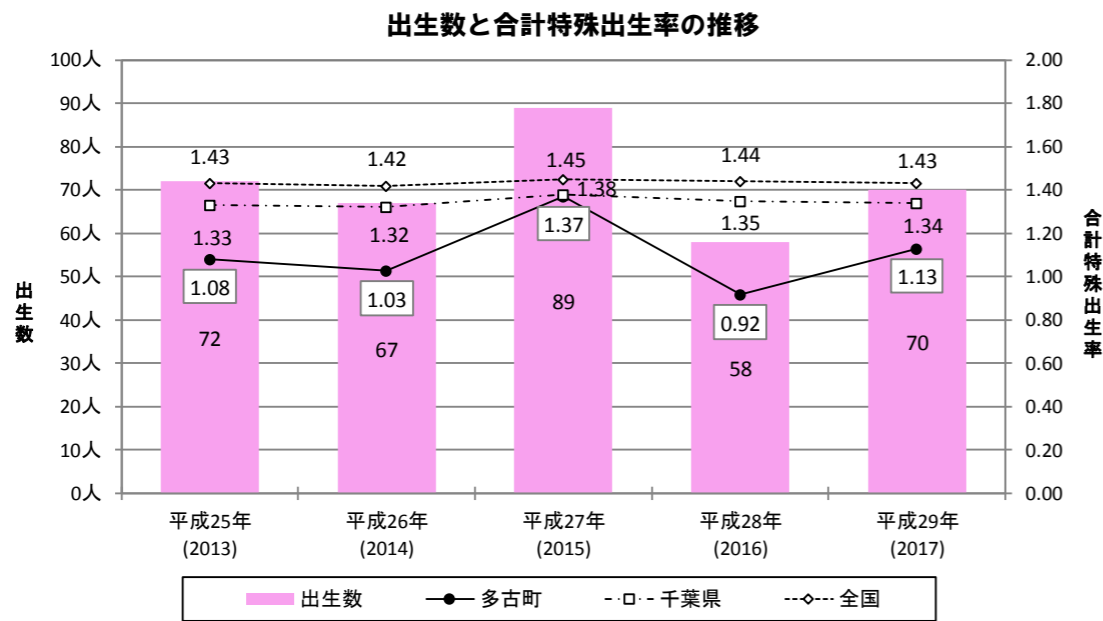
多古町の出生数・死亡数についてみると、ともに増減を繰り返して推移しており、平成29年では出生数が70人、死亡数が229人となっています。

出生数から死亡数を引いた自然増減については、平成25年以降一貫してマイナスとなっています。



(5) 合計特殊出生率の推移

多古町の合計特殊出生率をみると、増減を繰り返して推移しており、平成29年では1.13となっています。

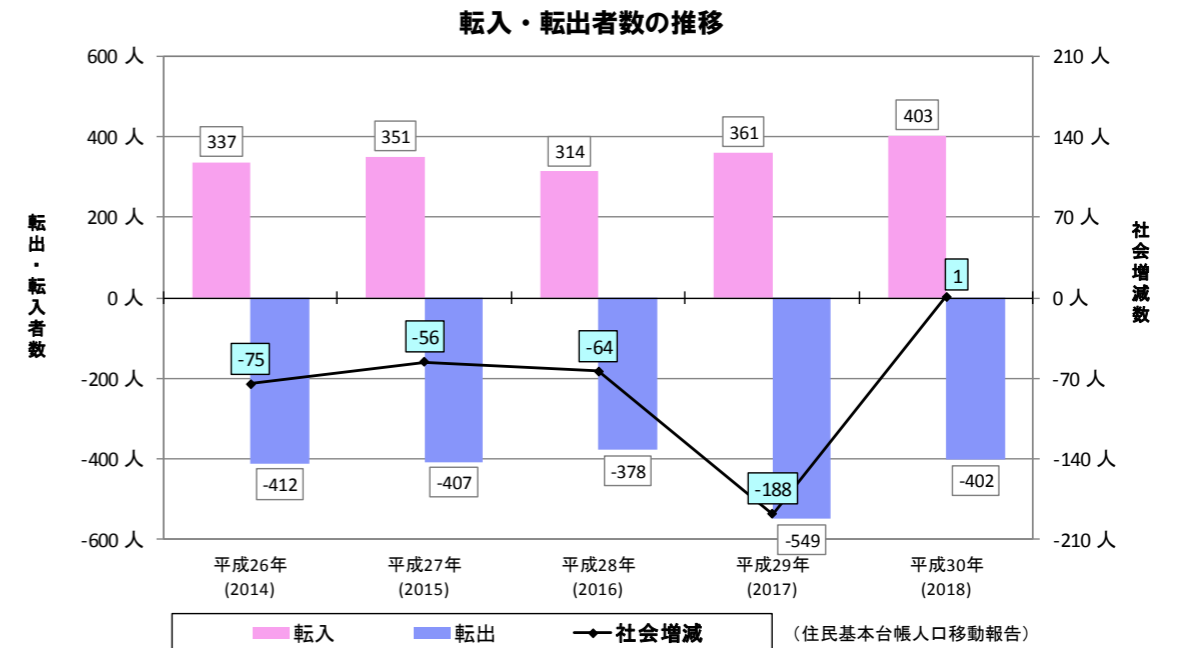


※出生数(人口動態調査)  
 ※合計特殊出生率(全国、千葉県は人口動態調査、多古町は出生数、女性人口により算出)

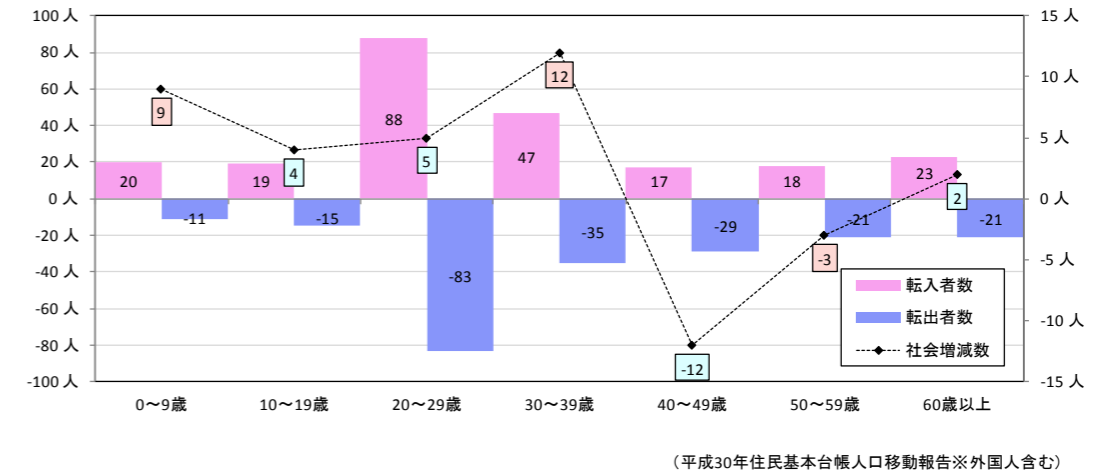
(6) 転入・転出の状況

多古町の転入者数・転出者数をみると、増減を繰り返して推移しており、平成30年(平成29年に移動した数)では、転入者数が403人、転入出者数が402人となっています。

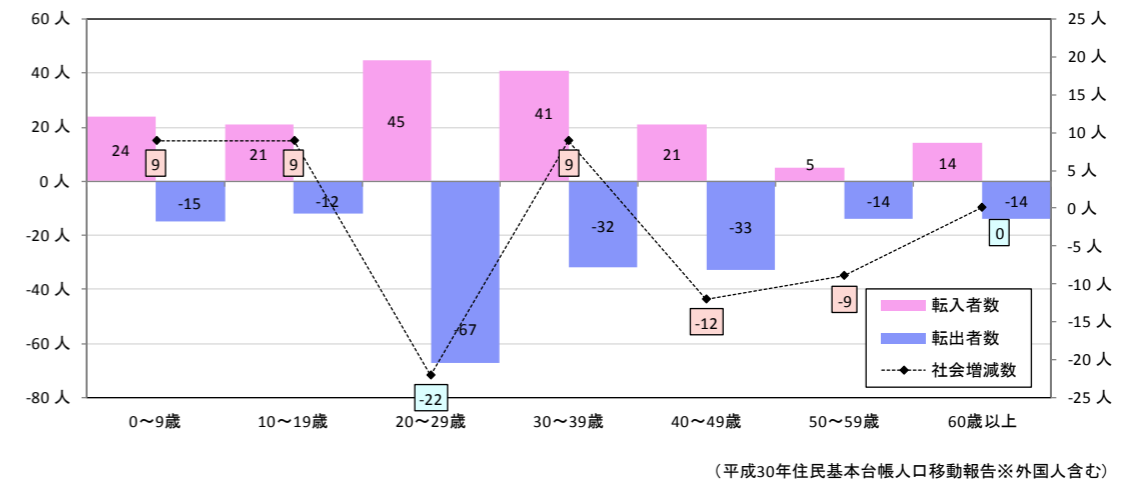
転入者数から転出者数を引いた社会増減については、平成29年まではマイナスとなっていたが、平成30年はプラスとなっています。



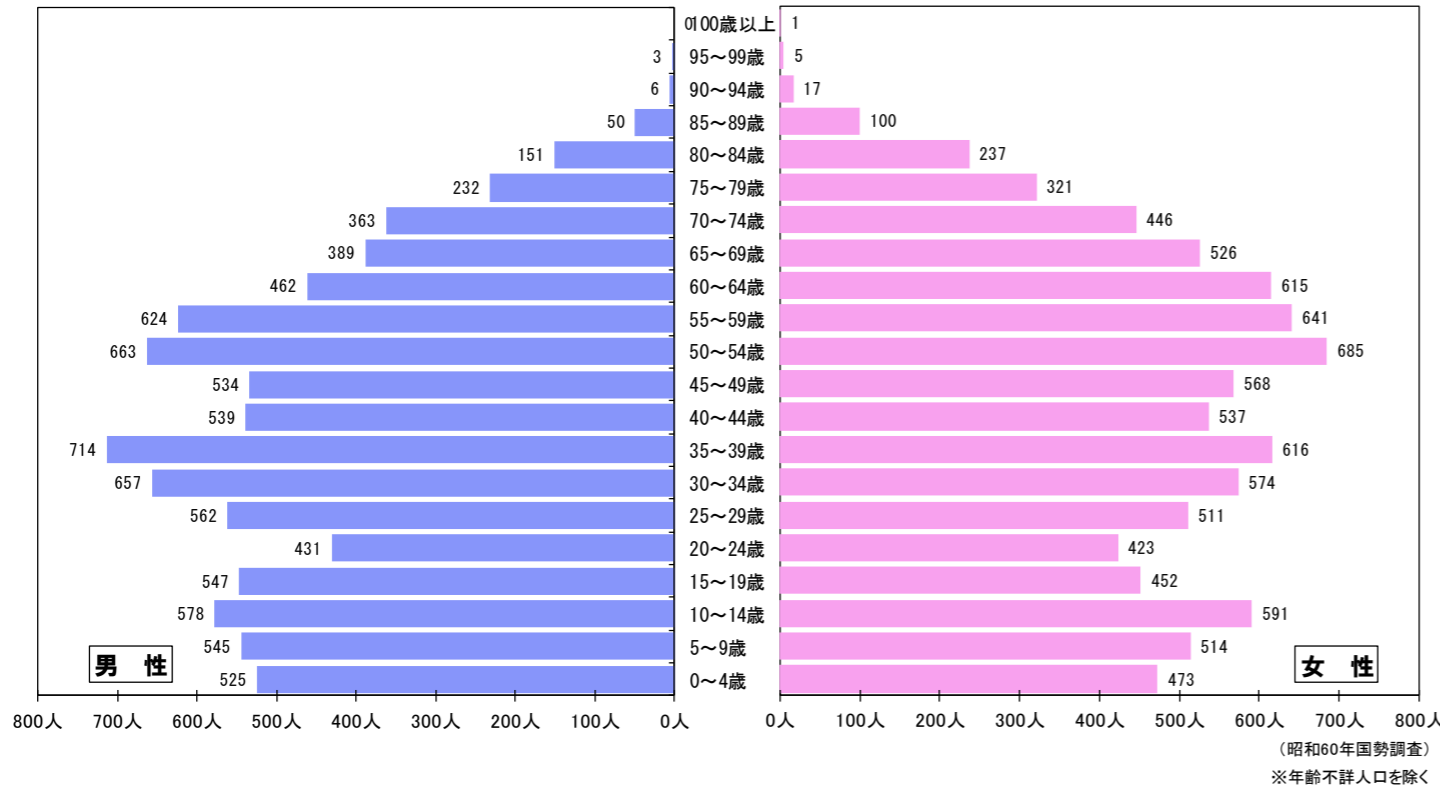
年齢10歳区分別 転入・転出の状況(男性)



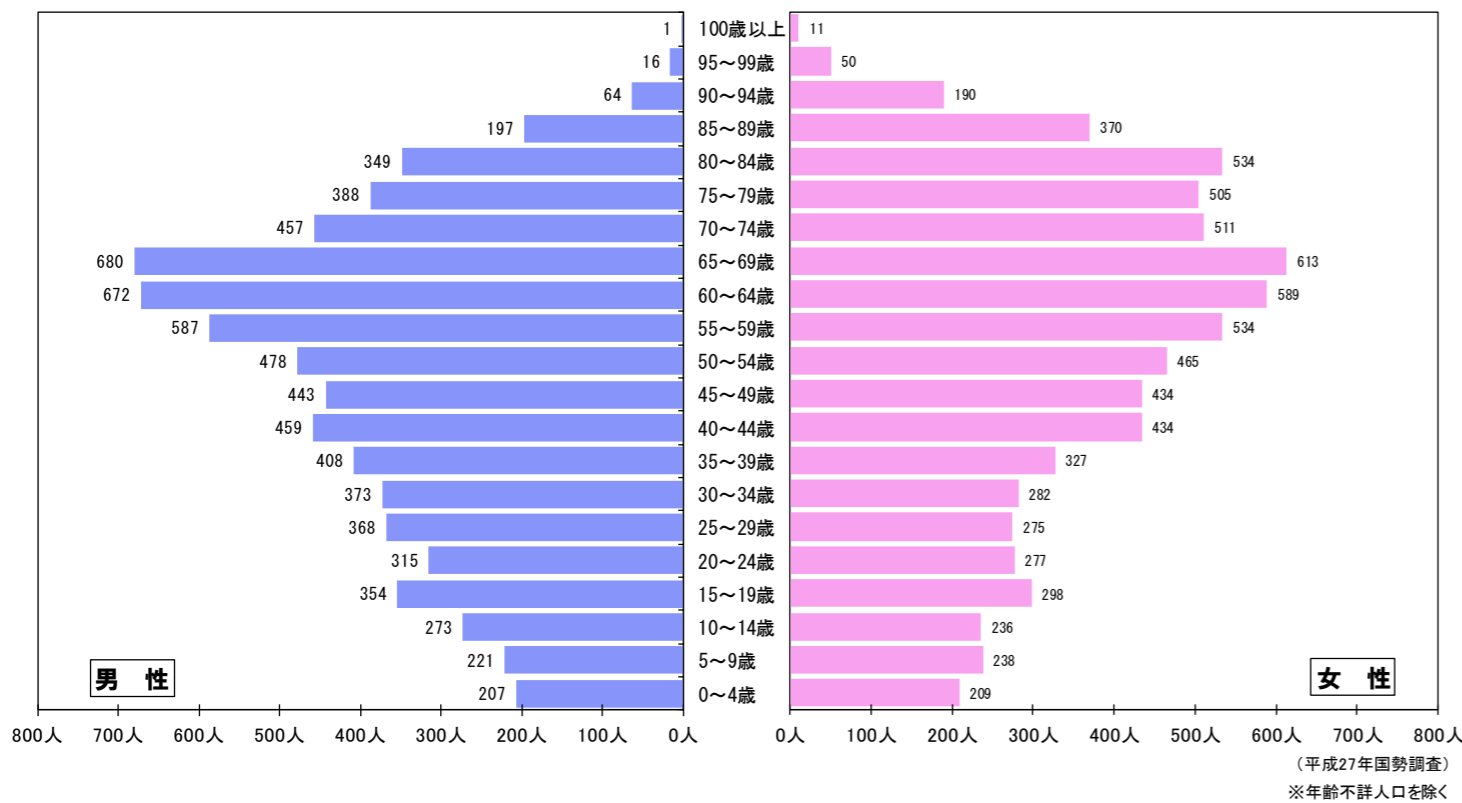
年齢10歳区分別 転入・転出の状況(女性)



多古町の5歳階級別人口構造（昭和60年）



多古町の5歳階級別人口構造（平成27年）



①人口が減少傾向、人口構造としても少子高齢化が顕著に進行している

多古町の人口としては減少が続いており、年齢別にみて年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）の減少がみられます。

人口構造としても、平成27年の年少人口比率が9.4%であるのに対し、老年人口比率が33.6%となっており、少子高齢化となっている状況がみられます。

⇒人口減少に対する対策としては、特に年少人口と生産年齢人口の減少を緩和する部分に重点を置いて取り組みを行う必要があると思われます。

②出生数が少なく、自然増減がマイナスとなっている

多古町の出生数は近年60～90人くらいで推移し、死亡数と比べ少ない状況で、自然増減がマイナスとなっており、人口減少の要因となっています。

⇒出生数増加のために、若い女性の人口を増やすこと、また、出生のための対策を行い、合計特殊出生率についても増加させることが、出生数増加のために必要と思われます。

③社会増減全体としてはプラスへの回復がみられるが、若い女性の社会増減は他と比べマイナスが大きい

多古町社会増減は、平成29年までの一貫したマイナスから、平成30年でプラスに転じており、転入者数の増加、転出者数の減少がみられます。

しかし、転出・転入の状況を性別、年齢別にみると、20～29歳の女性が特に社会増減のマイナスが大きくなっています。

⇒若い女性の社会増減を回復させるための取り組みを行うことで、出生数の増加への対策にもつながるため、若い女性の社会増減に対する取り組みを行う必要があると思われます。